

イン・ビトウィーン

とき・10/14(土)～1/28(日)

ところ・2階展示室

内容・本展覧会は、近年当館の収蔵作家となった早瀬龍江、ジョナス・メカス、林芳史に、ゲスト・アーティストとして潘逸舟を加えた4名の作家に焦点をあてます。日常的な営みを起点に、絵画、版画、ドローイング、映像などそれぞれのメディアを用いた試みを重ね、他者との境界やアイデンティティについて思索を深める各作家の足跡を、作品や資料を通して紹介します。

観覧料・一般1000円(800円)、大高生800円(640円)

※()内は20名以上の団体料金
※中学生以下と障害者手帳等をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料
※企画展観覧券(ぐるっとパスを除く)をお持ちの方は、併せてMOMASコレクションもご覧いただけます。

《関連イベント》

○アーティスト・トーク

潘逸舟(出品作家)×長島有里枝(アーティスト)

とき・10/14(土)15:00～16:30(開場は14:30)

ところ・2階講堂/定員・80名(当日先着順)/費用・無料

○ジョナス・メカス映像作品上映会&トーク

とき・第1回:11/12(日)13:30～15:40(開場は13:00)

・第2回:12/24(日)13:30～15:15(開場は13:00)

・トーク:12/24(日)15:30～(1時間程度)

ところ・2階講堂/費用・無料

定員・各60名(事前予約制、先着順、複数申込可)

申込受付・10/3(火)より当館ホームページから

※上映プログラムなど詳細はホームページをご覧ください。

○ワークショップ「見つめる窓」

展覧会を鑑賞し、自分だけの窓を作ります。

とき・12/3(日)、12/10(日)各13:30～15:30

※全2回のワークショップです。

講師・潘逸舟(出品作家)/費用・企画展観覧料が必要です。

対象・小学校中学年以上(2日間参加できる方)

定員・10名(事前予約制、応募者多数の場合は抽選)

申込受付・11/1(水)より当館ホームページから

アーティスト・プロジェクト #2.07

永井天陽 遠回りの近景

とき・10/14(土)～1/28(日)

ところ・2階展示室D、センターホール他/観覧料・無料

内容・彫刻家の永井天陽は、アクリル材や剥製、既製品など、異なる素材を重ね合わせることで、多重の境界をもつ彫刻作品を制作してきました。内と外が主張し合いながら一体化する作品群は、表層とかたち、輪郭の関係を揺らがせ、日常の認識を問いかけます。本展示では、永井の最新作を交えたインスタレーションを館内各所で行います。

《関連イベント》

○ワークショップ「かけら/かたち」

作品の制作時にしたカラフルなアクリルの端材を組み合わせ、アクセサリーやオブジェなどを作ります。

とき・11/18(土)13:30～15:00

講師・永井天陽/ところ・3階創作室/費用・無料

対象・小学生以上

定員・20名(事前予約制、応募者多数の場合は抽選)

申込受付・10/18(水)より当館ホームページから

MOMAS コレクション (収蔵品展)



とき・9/2(土)～11/26(日)

ところ・1階展示室

観覧料・一般200円(120円)、大高生100円(60円)

※()内は20名以上の団体料金
※中学生以下と障害者手帳等をご提示の方(付き添い1名を含む)は無料

※11/14(火)は「県民の日」のため無料

◇セレクション

モーリス・ドニ、瑛九 ほか

◇特集:須田剋太

埼玉出身の須田剋太は、生命感あふれる力強い抽象画を数多く制作しました。当館の須田剋太コレクションが一堂に会します。

上:瑛九(田園)1959年、加藤南枝氏蔵(当館寄託)
下:須田剋太《作品 1984白》1984年

※本紙記載の展覧会やイベントは、変更・中止となる場合があります。ご来館前に当館ホームページで最新情報をご確認ください。



所在地・〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤9-30-1
TEL・048-824-0111 FAX・048-824-0119 代表メール・p240111@pref.saitama.lg.jp
URL・https://pref.spec.ed.jp/momas/
開館時間・10:00～17:30(展示室への入場は17:00まで)
休館日・月曜日(10/9は開館) 入館料・無料 観覧料・上記をご覧ください。

交通・JR京浜東北線 北浦和駅西口より徒歩3分(北浦和公園内)。
※当館に専用駐車場はありませんが、お体の不自由な方のご来館には業務用駐車場を提供いたします。
ただし、台数に限りがありますので、事前にご連絡をお願いします。



展覧会図録の探し方

当館の3階には、美術資料に特化した「資料閲覧室」があります。美術館活動に必要な、所蔵作品調査や展覧会開催のための研究資料を所蔵しており、毎週火曜、木曜、土曜日の13時から17時までの開室時間には、一般の方にも公開しています。



美術資料のうち、特に多く所蔵しているのが、全国各地の美術館等で開催された展覧会で発行される図録・カタログ(以下「展覧会図録」)です。

今回は、展覧会図録の探し方について紹介します。

まず最初に、お断りしなければならないのは、当館の「資料閲覧室」の所蔵状況について、インターネットで蔵書目録の検索が出来ないということです。最近の公共図書館では、インターネットで蔵書目録の検索出来るのが常かと思いますが、当館では「資料閲覧室」の検索システムを公開しておりません。

そこで、国立美術館や都内の美術館等、13館の加盟館で、蔵書を横断的に検索できる「美術図書館横断検索」*1を利用して、展覧会図録を探してみましょう。国立国会図書館や、都道府県立図書館にも所蔵のない美術関係資料も、この情報サイトであれば探せるかもしれません。お目当ての展覧会図録の情報をこのサイトで事前に入手してから、当館の「資料閲覧室」のカウンタースタッフにおたずねください。スムーズにご案内できると思います。

また、「美術図書館横断検索」でも探せない資料は、「東京文化財研究所資料閲覧室図書・雑誌検索」*2を利用してみましょう。画廊やギャラリーでの展示会図録も収集しているので、参考になります。

さらに、埼玉県関係の展覧会図録をお探しの場合は、「埼玉県内図書館横断検索」*3を利用してみましょう。埼玉県内の公共図書館等の蔵書、2500万冊以上の資料の検索が可能です。つい先日、埼玉県出身の画家の展覧会図録について、当館の「資料閲覧室」には、所蔵が無く、「埼玉県内図書館横断検索」で県内の市立図書館に所蔵があり、紹介したということもありました。

また、国立国会図書館の調べ方案内「リサーチナビ」にて、「展覧会図録・カタログ(展覧目録)を探す」*4という情報サイトもあります。まさに展覧会図録の探し方について紹介しているサイトですので、参考にさせていただけると幸いです。(K.H.)



ミュージアム・ショップおすすめ商品

今回ご紹介するのは、当店のオリジナル・マークを手掛けたアートディレクター葛西薫さんデザインによる2024年ダイアリーです。

インデックスタイプなのでスケジュールがすぐに確認でき、細部までこだわった機能を重視したシンプルなデザインになっております。カラーは落ち着いた紺色と鮮やかな赤色の2色展開です。ぜひ実際にお手に取ってご覧になってください。



サイズ 21×13cm 価格 2,970円(税込)

